

1.工事概要

(赤着色セルは必須入力箇所です。)

発注担当者チェック欄		発注機関コード		法人番号	請負会社名		建設業許可の場合	号	記入年月日	R	年	月	日	
発注機関を選択	大分類			担当者	会社所在地	TEL	E-mail	号	工事責任者					
	中分類													
小分類														
大分類でその他民間企業「個人」を選択した場合 発注者の商号、名称又は氏名記入														

工事名	工程を選択		工事種別コード*3	請負金額	千 百 十 千 百 十 億 億 億 万 万 万 1万円未満四捨五入	名記金額のうち特定建設資材搬入等の再生資源化等に要した費用 千 百 十 千 百 十 億 億 億 万 万 万 1万円未満四捨五入	建築面積	百 十 千 百 十 万 万 万 万 ㎡	階 数	地上 階	地下 階			
工事施工場所	住所コード		工 期	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで	再資源化等が完了した年月日	令和 年 月 日	延床面積	百 十 千 百 十 万 万 万 万 ㎡						
工事概要等	施工案件の内容 (再生資源の利用に関する特記事項等)		建設・解体工事のみ 右欄に記入して下さい				構 造					使 途		

※解体工事については、建築面積をご記入いただくなくても結構です。

2.建設資材利用計画

建設資材（新材を含む全体の利用状況）					左記のうち、再生資材の利用状況（再生資材を利用した場合に記入して下さい）							再生資源
分 類	小 分 類 コード*5	規 格	主な利用用途 コード*6	利 用 量(A) 小数点第三位まで	再生資材の名称 コード*7	再生資材利用量(B) 小数点第三位まで	再生資材の供給元施設、工事等の名称	供給元 種類 コード*8	施工条件 内容 コード*9	再生資材の供給元場所住所	住所コード *4	利用率 B/A×100
特定建設資材	コンクリート			トン		トン						0 %
				トン		トン						0 %
		合 計			0.000	トン	0.000	トン				0 %
	コンクリート及び鉄から成る建設資材			トン		トン						0 %
				トン		トン						0 %
		合 計			0.000	トン	0.000	トン				0 %
	木 材			トン		トン						0 %
				トン		トン						0 %
		合 計			0.000	トン	0.000	トン				0 %
	アスファルト・コンクリート			トン		トン						0 %
			トン		トン						0 %	
合 計				0.000	トン	0.000	トン				0 %	
その他の建設資材	土 砂			締め㎡		締め㎡						0 %
				締め㎡		締め㎡						0 %
		合 計			0.000	締め㎡	0.000	締め㎡				0 %
	砕 石			㎡		㎡						0 %
				㎡		㎡						0 %
		合 計			0.000	㎡	0.000	㎡				0 %
	塩化ビニル管・継手			トン		トン						0 %
				トン		トン						0 %
		合 計			0.000	トン	0.000	トン				0 %
	石膏ボード			トン		トン						0 %
				トン		トン						0 %
		合 計			0.000	トン	0.000	トン				0 %
	その他の建設資材			トン		トン						0 %
				トン		トン						0 %
合 計				0.000	トン	0.000	トン				0 %	

コード*5
コンクリートについて
1.生コン(パージン骨材)
2.再生生コン(Co再生骨材H)
3.再生生コン(Co再生骨材M)
4.再生生コン(Co再生骨材L)
5.再生生コン(その他再生材)
6.無筋コンクリート二次製品(リユース品)
7.無筋コンクリート二次製品(その他再生材)
8.再生無筋コンクリート二次製品(Co再生骨材)
9.再生無筋コンクリート二次製品(その他再生材)
コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1.有筋コンクリート二次製品(パージン骨材)
2.有筋コンクリート二次製品(リユース品)
3.再生有筋コンクリート二次製品(Co再生骨材)
4.再生有筋コンクリート二次製品(その他再生材)
5.その他
木材について
1.木材(ボード類を除く)
2.木質ボード
アスファルト・コンクリートについて
1.粗粒度アスコン
2.密粒度アスコン
3.細粒度アスコン
4.開粒度アスコン
5.改質アスコン
6.アスファルトモルタル
7.加熱アスファルト安定処理路盤材
8.その他
土砂について
1.第一種建設発生土
2.第二種建設発生土
3.第三種建設発生土
4.第四種建設発生土
5.浚渫土以外の泥土
6.浚渫土
7.土質改良土
8.建設汚泥処理土
9.再生コンクリート砂
10.山砂、山土などの新材(採取土、購入土)
砕石について
1.クラッシュラン
2.粒度調整砕石
3.鉱さい
4.単粒度砕石
5.ぐり石、割ぐり石、自然石
6.その他
塩化ビニル管・継手について
1.硬質塩化ビニル管
2.その他
石膏ボードについて
1.石膏ボード
2.シーリング石膏ボード
3.強化石膏ボード
4.化粧石膏ボード
5.石膏ラスボード
6.その他
その他の建設資材について
(利用量の多い上位2品目を具体的に記入して下さい)

コード*6
アスファルト・コンクリートについて
1.表層
2.基層
3.上層路盤
4.歩道
5.その他(駐車場舗装、敷地内舗装等)
土砂について
1.道路路床
2.路床
3.河川築堤
4.構造物等の裏込材、埋戻し用
5.宅地造成用
6.水面埋立用
7.ほ場整備(農地整備)
8.その他
砕石について
1.舗装の下層路盤材
2.舗装の上層路盤材
3.構造物の裏込材、基礎材
4.その他
塩化ビニル管・継手について
1.水道(配水)用
2.下水道用
3.ケーブル用
4.農業用
5.設備用
6.その他
石膏ボードについて
1.壁
2.天井
3.その他
その他の建設資材について
(利用用途を具体的に記入して下さい)

コード*7
コンクリートについて
1.再生生コン(Co再生骨材H)
2.再生生コン(Co再生骨材M)
3.再生生コン(Co再生骨材L)
4.再生生コン(その他再生材)
5.無筋コンクリート二次製品(リユース品)
6.無筋コンクリート二次製品(Co再生骨材)
7.再生無筋コンクリート二次製品(その他再生材)
8.その他
コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1.有筋コンクリート二次製品(リユース品)
2.再生有筋コンクリート二次製品(Co再生骨材)
3.再生有筋コンクリート二次製品(その他再生材)
4.その他
木材について
1.再生木材(ボード類を除く)
2.再生木質ボード
アスファルト・コンクリートについて
1.再生粗粒度アスコン
2.再生密粒度アスコン
3.再生細粒度アスコン
4.再生開粒度アスコン
5.再生改質アスコン
6.再生アスファルトモルタル
7.再生加熱アスファルト安定処理路盤材
8.その他
土砂について
1.第一種建設発生土
2.第二種建設発生土
3.第三種建設発生土
4.第四種建設発生土
5.浚渫土以外の泥土
6.浚渫土
7.土質改良土
8.建設汚泥処理土
9.再生コンクリート砂
砕石について
1.再生クラッシュラン
2.再生粒度調整砕石
3.鉱さい
4.その他
塩化ビニル管・継手について
1.再生硬質塩化ビニル管
2.その他
その他の建設資材について
(利用量の多い上位2品目の再生資材名称を具体的に記入して下さい)

コード*8
再生資材の供給元について
1.現場内利用
2.他の工事現場(内陸)
3.他の工事現場(海面)
4.再資源化施設
5.土砂ストックヤード
6.その他

コード*9
施工条件について
1.再生材の利用の指示あり
2.再生材の利用の指示なし

1.工事概要

表面(様式1)に必ずご記入下さい

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

様式(32)

2.建設副産物搬出計画

建設副産物の種類	①発生量 (掘削等) =②+③+④ 小数点第三位まで	現場内利用・減量				現場外搬出について										再生資源利用促進率 ②+③+⑤ ① (%)		
		現場内利用		減量化		搬出先名称 2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上にわたる時は、用紙を換えて下さい。	区分	施工条件の内容 コード*12	搬出先場所住所	住所コード *4	運搬距離 *13 千 百 + 一	搬出先の種類 コード *13	④現場外搬出量		⑤再生資源利用促進量			
		②利用量 用途 コード *10	③減量化量 減量 方法 コード *11	④現場内改良分 小数点第三位まで	⑤再生資源利用促進量 小数点第三位まで													
資材特定廃棄物	コンクリート塊	0.000 トン		トン	トン							km		トン	0.000 トン	0.000 トン	0 %	
	建設発生木材A (柱、ボードなど木製資材が廃棄物となるもの)	0.000 トン		トン	トン							km		トン	0.000 トン	0.000 トン	0 %	
	アスファルト・コンクリート塊	0.000 トン		トン	トン							km		トン	0.000 トン	0.000 トン	0 %	
	その他がれき類	0.000 トン										km		トン	0.000 トン	0.000 トン	0 %	
建設廃棄物	建設発生木材B (枕木、障子材などが廃棄物となるもの)	0.000 トン		トン	トン							km		トン	0.000 トン	0.000 トン	0 %	
	建設汚泥	0.000 トン		トン	トン							km		トン	0.000 トン	0.000 トン	0 %	
	金属くず	0.000 トン										km		トン	0.000 トン	0.000 トン	0 %	
	廃塩化ビニル管・継手	0.000 トン										km		トン	0.000 トン	0.000 トン	0 %	
	廃プラスチック (廃塩化ビニル管・継手を除く)	0.000 トン										km		トン	0.000 トン	0.000 トン	0 %	
	廃石膏ボード	0.000 トン										km		トン	0.000 トン	0.000 トン	0 %	
	紙くず	0.000 トン										km		トン	0.000 トン	0.000 トン	0 %	
	アスベスト (飛散性)	0.000 トン										km		トン	0.000 トン	0.000 トン	0 %	
	その他の分別された廃棄物	0.000 トン										km		トン	0.000 トン	0.000 トン	0 %	
	混合状態の廃棄物 (建設混合廃棄物)	0.000 トン										km		トン	0.000 トン	0.000 トン	0 %	
	建設発生土	第一種 建設発生土	0.000 地山m ³		地山m ³	地山m ³							km		地山m ³	0.000 地山m ³	0.000 地山m ³	0 %
		第二種 建設発生土	0.000 地山m ³		地山m ³	地山m ³							km		地山m ³	0.000 地山m ³	0.000 地山m ³	0 %
第三種 建設発生土		0.000 地山m ³		地山m ³	地山m ³							km		地山m ³	0.000 地山m ³	0.000 地山m ³	0 %	
第四種 建設発生土		0.000 地山m ³		地山m ³	地山m ³							km		地山m ³	0.000 地山m ³	0.000 地山m ³	0 %	
液状土以外の泥土		0.000 地山m ³		地山m ³	地山m ³							km		地山m ³	0.000 地山m ³	0.000 地山m ³	0 %	
液状土 (建設汚泥を除く)		0.000 地山m ³		地山m ³	地山m ³							km		地山m ³	0.000 地山m ³	0.000 地山m ³	0 %	
合計		0.000 地山m ³		0.000 地山m ³	0.000 地山m ³									0.000 地山m ³	0.000 地山m ³	0.000 地山m ³	0 %	

コード*10

1.路盤材
2.裏込材
3.埋戻し材
4.その他

コード*11

1.焼却
2.脱水
3.天日乾燥
4.その他

コード*12

施工条件について

1.A指定処分
(発注時に指定されたもの)

2.B指定処分(もしくは準指定処分)
(発注時には指定されていないが、発注後に設計変更し指定処分とされたもの)

3.自由処分

コード*13

【建設廃棄物の場合】

1.売却
2.他の工事現場
3.広域認定制度による処理
4.中間処理施設(アスファルト合材プラント)
5.中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設)
6.中間処理施設(サマルリサイクル)
7.中間処理施設(単独焼却)

8.廃棄物最終処分場(海面処分場)
9.廃棄物最終処分場(内陸処分場)

【建設発生土の場合】

1.売却
2.他の工事現場(内陸)
3.他の工事現場(海面)
4.土質改良プラント
5.工事予定地・仮置場・ストックヤード(再利用の目的がある場合)

6.工事予定地・仮置場・ストックヤード(再利用の目的がない場合)
7.採石場・砂利採取跡地等復旧事業
8.廃棄物最終処分場(覆土としての受入)
9.廃棄物最終処分場(覆土以外の受入)
10.土捨て場・残土処分場

※ 6.9.10へ搬出した場合は、有効利用とみなされません。

注記) 一般廃棄物は記入しないで下さい。
・ 土壌汚染対策法に基づき処理する土壌は記入しないで下さい。